

第2回中央こども園病児・病後児保育センター
指定管理者選考委員会議事録（概要）

- 1 日時 令和3年10月27日（金） 14:00～14:50
- 2 場所 横須賀市役所 はぐくみかん 5階第4会議室
- 3 出席者 臺委員（委員長）、渡部委員、岸委員、小澤委員
欠席者 三宅委員
- 4 事務局 幼保児童施設課 角津係長、春名主任、市原主任
- 5 傍聴者 なし
- 6 議事内容
 - (1) 第2回中央こども園病児・病後児保育センター指定管理者選考委員会開会
 - (2) 事務局からの連絡事項
 - ・本日1名委員が欠席だが、指定管理者等選考委員会等条例第4条の規定により、本委員会が成立している旨の報告
 - ・傍聴者なしの報告
 - ・委員紹介
 - ・事務局紹介
 - ・配布資料の確認
 - ・指名団体の資格審査結果の報告
 - (3) 指名団体によるプレゼンテーション及び選考委員による質疑応答
 - (4) 事務局からの連絡事項
 - (5) 第2回中央こども園病児・病後児保育センター指定管理者選考委員会閉会

(3) について、質疑応答の内容は以下のとおりであった。

(委員) プレゼン資料の組織体制には保育士、看護師及び施設長の配置の記載はあるが、緊急時の対応として直ぐに相談できる体制が必要であるため嘱託医の配置は必須でないのか。

(事務局) 仕様書には嘱託医の配置が記載されている。

(回答) 資料には記載していないが、嘱託医は配置する。横須賀共済病院横須賀市立うわまち病院へ嘱託医への依頼をする予定。嘱託医は小児科、小児外科、整形外科、歯科医にも依頼する予定で進めている。

(委員) 午睡チェックについて、0歳児は5分に1回、1歳児以上には10分に1回確認とあるが、その確認方法は保育士などの職員が行うのか、または、補助ツールを使用するのか。

(回 答) 確認方法は、保育士がタイマーを使用し手をお腹に当てて記録チェック表を記載する形としている。補助ツールのお昼寝センサーを Bluetooth や Wi-Fi でとばすような方法の導入を病児保育のみで検討している。

(委 員) 施設長は常駐か。

(回 答) 常駐ではない。何かあった場合には、駆けつけて対応する形となる。

(委 員) 常勤職員(看護師・保育士)は勤務時間が8時間か。その場合、1日勤務となると10時間の長時間勤務となるため、時間外勤務扱いとなるのか、それとも非常勤の職員と交代するのか。

(回 答) 常勤職員(看護師・保育士)がメインの時間を担当し、その前後は非常勤を配置する。土曜日も含めて長時間労働にならず、休暇が取れるシフトとする。

(委 員) 災害があったとき、誰か責任を負える者が必要だが、現場責任者の体制はどうなっているのか。

(回 答) 常勤の看護師が現場責任者となり、非常時にどのような報告体制をとるか現場判断を行う。そのため看護師は常に居るようにする。

(委 員) 非常時の状況により対応が変わってくるため、対応マニュアルや運営マニュアルはあるのか。

(回 答) 運営マニュアルはこれから作成予定。

(委 員) オンラインを使った「親子をつなぐサービス」や、その他の情報発信を行う際は個人情報の管理を慎重に取り扱う必要があるが、個人情報の管理についてはどのように考えているか。

(回 答) 個人情報は3つに分けられると思っている。まずお客様情報、自治体からの情報等の最大の機密情報は赤とする。次に施設内の情報の、例えば児童の画像や写真などは黄色とする。黄色の情報の取り扱いは、外から見えるような場所には張らず、施設内側からしか見えない場所、例えば窓の内側などに貼るようにする。最後に、施設の中にあるもので、例えばポストイット1枚でも個人情報に当たるものもあるので、これは青とする。個人情報の重要度を色で区別することで、目でみてわかるよう注意していく。個人情報は机の上等に出したままにせず、鍵付きのキャビネットへ仕舞うようにする。個人情報は内容により色のついたラベルを張り管理することで、みんなの目につきやすく注意する意識をもつようにしていく。

また、使用することは考えていないが、個人の画像や映像のデータがある場合には、お客様しか入れないパスワードを設定して他人がみれないように管

理する。

(委員) 医療的ケア児や家庭内虐待等のハイリスクのある児童を発見した際の場面に備えて、社会的ネットワークや自治体との連携が必要と考えられるが、このことについてはどうか。

(回答) 各職種はその職種に応じた力を発揮するべきと考えている。保育士は母子の心のケア、看護師は身体のバイタルチェックを行うなど専門性をもったこの2つのトータルで病児のケアができると考えている。児童虐待については、保護者だけでなく、もしかしたら、雇用している保育者が虐待を行うことも考えられる。保護者からの虐待をどのように発見していくか、まずは子育て支援センターや児童相談所の情報に注意し連携をとっていくことが必要と考えている。

(委員) 中央こども園には、病児・病後児保育センターの他にこども園や一時預かり事業所などの複数の団体が運営することとなるが、運営主体が異なる施設全体での災害時の対応などをどのように考えるか。

(回答) 病児・病後児保育センターとしては月に1回避難訓練を行う。また、中央こども園の他の運営主体で何かあった場合には、病児・病後児保育センターの職員が支援に行けるような体制づくりをしていきたい。

(委員) 広く市民に利用してもらえよう、予約体制についてはどのように周知、発信していくか。

(回答) 横須賀市と相談して予約システムを最大限に活用して行きたい。病児保育について、他者の目や利用方法、費用も含め抵抗感がありなかなか利用できない人もいる。WEBを使って広報を行い、予約システムを活用して抵抗感を払拭し、みんなが利用し易い環境づくりをしていきたい。また、病児・病後児保育センターが市内に2施設あるということ、市内の小児科に周知できないか、と思っている。

以上